



5病棟の生活のひとコマ 90



ジメジメとした梅雨の季節がやってきました。憂鬱な気分になりやすい時期ではありませんが、上手に気分転換をしながら乗り越えていきたいですね。さて今回は、5病棟自慢のスヌーズレンルームをご紹介しますと思います。



スヌーズレンルームは季節に合わせて2か月ごとにお部屋内の装飾を入れ替えており、5・6月は梅雨シーズンのため「雨」がテーマとなっています。蛍光絵の具で塗られた紫陽花やかたつむり、雨粒がブ

ラックライトに照らされて暗闇の中で綺麗に光っており、幻想的な雨の世界を表現しています。また、アロマの落ち着いた香りや雨音が聞こえるお部屋はとても心地よくリラックスできる空間となっており、中には途中で眠ってしまう患者さんもみえました。5病棟に来られた際には、是非スヌーズレンルームも覗いてみてくださいね。

(児童指導員 森 日奈子)

2病棟の子どもたちの生活のひとコマ

日中の気温がぐんぐん上がり、蒸し暑い日々が続いています。毎年、夏の気温も上昇し安易に外出できなくなってきています。日中の暑い時には、家の中でも水分補給を忘れず、体調管理には十分気をつけていきましょう。

さて、今回2病棟ではこの暑さの中でも元気に咲いている夏のお花、「ひまわり」の種まきをしました。このひまわりの種は、東日本大震災の時に瓦礫の中で咲き誇っていたひまわりの種の生命を受け継いでいます。子どもたちに種の説明をすると、真剣な表情で聞き入る姿がみられました。お花に関心がないと言っていた子どもから「これから水やりするわ」という発言がきかれ、このひまわりの生命をつないでいきたいという思いがみられました。

今年も暑さにも負けず元気に咲いていることを願って……これからの生長が楽しみです。

(児童指導員 平田 真理子)



ご存知ですか? 専門看護師

「専門看護師」をご存知ですか? 専門看護師とは、複雑で解決が難しい看護問題を持つ患者さまやご家族、その方々に関わる人たちに対して水準の高い看護ケアを効率よく提供するために、特定の専門看護分野の知識や技術を深めた看護師のことです。今現在、14の専門分野があり、三重病院で活動している私は「小児看護」の専門看護師です。

私は長く小児に関わる病棟で勤務していたこともあり、病気を持ちながらも日々懸命に過ごし、成長・発達を遂げていく子どもと家族の支えになりたいと考えていました。しかし、一人で看護ができるわけではありません。看護師だけでなく、いろんな職種の人たちと協力し合って患者さんやご家族をサポートしていきます。その時に、皆が同じ方向を向いて子どもたちに関わるには、意見を述べたり話し合ったりできる専門的な知識やスキルがもっと必要なのではないかと思います。専門看護師を目指しました。

三重病院は三重こどもメディカルコンプレックスの一翼を担っており、感染症やアレルギー疾患、代謝性疾患、神経疾患などの慢性疾患をもつ多くの子どもたちが外来や入院で治療を受けています。三重県内の子

もたちの健康増進、疾病予防、治療に、少しでも貢献できるよう、これからも研鑽を重ねていきます。また、病気を抱える子どもだけでなく、病気ではない健康な子どもも、地域で暮らしながら健やかに成長・発達することを支えることが大切だと考えています。病院内外の子どもに関わる人たちとともに協働し、看護教育や看護研究支援を行い小児看護の質向上につなげたいと思います。

普段は小児病棟で勤務していますが、時々外来などほかの部署に行くこともあります。何かお困りのことがありましたら、遠慮なくお声掛けください。

今回は糖尿病看護認定看護師の紹介です。お楽しみに。

(小児看護専門看護師 東岡 史)

外来からのお知らせ

令和6年7月から筒井清行医師の退職に伴い、当院の内科は呼吸器内科がなくなり、糖尿病・内分泌内科のみとなります。

休診 [歯科口腔外科] 7/5(金)… 村松⇨(代診なし)

[耳鼻咽喉科] 7/11(木)・12(金)⇨増田・臼井(代診なし)

当院の都合で急遽休診が出ることがあります。気になるようでしたら、受診当日、当院までお問い合わせください。